

地域再生計画（污水处理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	那須烏山市	地域再生計画名	「自然と共存の郷（第2期）」清流再生計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	上下水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績			
	指標 1	汚水処理人口普及率を44.2%から53.4%に向上	44.2%	H22	51.5%	H25	50.4%	53.4%	H26	51.7%	△	汚水処理施設整備交付金の活用により、汚水処理施設の整備は効率的に実施でき、一部公共下水道事業で、災害時対応可能な施設の整備等で、面整備の目標が下回った。
	指標 2	那珂川関連交流人口を19,300人から30,000人まで拡大	19,300人	H22	25,000人	H25	25,000人	30,000人	H26	25,000人	△	多様なレジャーへの移行また、最近の経済状況の悪化等の影響もあり目標を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H24）	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道（整備延長、MP機械、電気設備）		4,950m	2,060m	3,076m	整備延長が伸び悩んだ要因に、災害時対応可能な発電機設置のあるマンホールポンプ場建設実施により目標達成が下回った。						
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		650基	369基	593基	汚水処理施設普及に大いに貢献しているが、目標基数まで達しなかった。						
その他の事業	那珂川PR事業		年4回河川環境整備と自然の営みにふれるイベントを実施。			NPO那珂川流域悠遊会が中心となり、那珂川沿線市町とも連携がとれ実施できた。						
	人材育成事業		環境問題意識を高めるため年1回のクリーン作戦。また、市内の小中学校の施設研修の実施。			市関係者や地域協力者により環境問題等の意識が高まった。						
	自然体験事業		那珂川流域での、自然ふれあい体験実施。			市、観光協会、民間団体が一体となり年1回のカヌー、カヤックを利用しての自然体験の実施。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	最終目標値の実現状況を評価、検討等を評価書にまとめ、執行部に決裁をもとめる。											
⑤事後評価の公表方法	住民に汚水処理施設への理解を深める等から、事後評価書を那須烏山市ホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画は、汚水処理施設整備交付金を利用した公共下水道と個人設置型浄化槽整備事業を一体的に実施し、効率的に汚水処理施設の整備が進んでいるが、普及率目標において人口減少の要因を含める必要があった。また、那珂川関連交流人口が目標に満たないのは、最近の様々な影響を受けたと思われる。											
⑦今後の方針等	次期地域再生計画においては、汚水処理施設整備交付金を利用した公共下水道と個人設置型浄化槽整備事業を今後効率的に推進し、汚水処理人口の普及率向上につとめ、生活環境の改善及び快適な住まいの改善、関係機関とも協力しながら那珂川関連交流人口拡大を目指したい、											